



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST

# 長野西ロータリークラブ

例会 毎週金曜日 12:30~13:30 ホテル国際 2 1  
 事務局 〒380-0838 長野市県町576 ☎026(235)2800 FAX 026(235)0016  
 e-mail:nwrc@sweet.ocn.ne.jp

会長/池田 修平 幹事/中野 欣哉 クラブ会報委員長/青木 宏  
 SAA/小山浩太郎 副 SAA/若麻績信昭



第1333回例会 2015年（平成27年）3月27日（金）

## ロータリーに輝きを LIGHT UP ROTARY

### 会長挨拶

池田修平会長

本日も先週に引き続き建築の話ですが、建築工事の費用についての話です。特に皆さんも関心がおありだと思います。

50坪の木造住宅では坪単価が約70万で工事費は3500万ぐらいかかります。40年前では約50万から55万ぐらいが平均でした。では、何故今どきの住宅は多くかかるかと言いますと、昭和50年に入りました台所にシステムキッチンが入ってきました。この頃ではコンロとステンレス製シンクでして20万から30万ぐらいのものでした。今は約300万前後の値段がします。そのかわりガスレンジ、IHヒーター、大型シンク、食器戸棚など総合的にセットされたものができています。また、バスにしても20万から30万の時代から150万ぐらいします。空調機器も当時は置き型のストーブ等でしたが、エアコンに代わり約200万します。そういった品物が今では普通にセットされている為、坪単価が上がっています。これが今の住宅の実情で決して高いものではなく、品質の良い物が用意されて快適な生活を送れるような住宅になってきたと理解して頂きたいと思っています。

### 幹事報告

中野欣哉幹事

#### \*第9回クラブ協議会報告

- ・明日3月28~29日 ペッツ（会長エレクト研修セミナー）開催。清水会長エレクト、綿貫隆夫PG、伊東次期ガバナー補佐出席。
- ・4月3日例会場変更 2階弥生の間
- ・4月5日（日）地区研修・協議会 松本大学
- ・4月10日観桜会18:30~ 於：大観
- ・5月10日長野市内6RC合同親睦ゴルフコンペ
- ・次年度も本年度の継続事業で「市民と憩うロータリーの森林（もり）事業」として地区補助金の申請をしました。
- ・3月17日情報集会報告：綿貫パストガバナー、飯田さんを講師にお迎えして大変有意義な会となりました。

### 地区研修・協議会について

小山次期幹事

4月5日の地区研修・協議会ですが、次年度の担当の役員、委員さんはよろしくお願ひします。ホテル国際に7:35集合、7:40出発で、長野駅東口7:45です。長野ロータリーさん手配のバスで行きますので時間厳守でお願いします。

出席・ニコBOX報告 高橋英司例会運営委員

3/27(会員54名)出席29名前々回修正出席率88.89%

ビジター 上原貴夫さん(軽井沢RC)

- ・若麻績信昭さん☆来週よりしばらく休みます。また逢う日まで。
- ・竜野晃一さん☆年一回花見欠席します。
- ・松本克幸さん☆久しぶりです。

・合計 12,000円 ・累計 585,603円

会員家族委員会より 高井委員長

4月10日の観桜会ですが、まだ出欠を出されていない方はよろしく願います。

5月10日(日)開催の長野市内6RC親睦ゴルフコンペの案内を出しました。例年通り12名の募集で締切が迫っていますので早めの返信をお願いします。登録料(5,000円)については、クラブから若干ではありますが補助をしたいと思います。ふるってご参加くださいますようお願い致します。

#### 4/3 本日のプログラム

会員卓話 北川原 健さん  
「パナマ運河を渡った」

#### 例会案内

- 4月10日 観桜会 18:30~大観
- 4月17日 ゲスト卓話 堀江三定さん  
(株)長野パルセイロ・  
アスレチッククラブ  
代表取締役社長
- 4月24日 会員卓話 宮原友昭さん

## 会員卓話 松本克幸さん

### 「これからの人生」



私は母をととても尊敬しております。

その母が私にいつも「私より先に死ぬことは絶対にしないでね」そして「私が生きた年齢よりは、必ず長生きしてね」と言います。

今年、満で89歳、数えて90

歳になります。私は上さんには、「俺より一日でも長く生きてくれ」と言っています。返ってくる言葉は、「当たり前でしょう、お父さんを残して先に行ける訳ないでしょ、一人では何にも出来ないんだから」と言ってくれます。とても有難いことです。大変感謝をしております。私は、この二人の女性を見ていつも、「女性ってのはすごいな～、この生命力はどこから湧いてくるのだろう」と不思議に思います。考えるに、それは、女性にしかなし得ない「子供を宿し、産み育てる」ということからきているのではないかと思いました。そして子供を中心にした自分の生活設計、大変だけど子供に対する深い愛情と、母親としての責任感があってこそだと思います。自分の子供については、子供が幾つになっても親に責任があるのは当然だと思います。そして、子供の教育については、何処の子供に対しても、大人に責任があるのだと思います。そういった観点から、年齢は幾つになっても、若い人たちからいくらうとまれようとも、会社で、地域で、誰がではなく、何が正しいかを言い続け、この素晴らしい長野を、日本を守っていく気概を持って、これからの人生を送っていきたく思います。私には、母から言われた、最低後20年という歳月があります。これからも、楽しみながら、少しでも人のお役に立つ人生を送っていきたく思います。